

おはようございます。



日本共産党北区議会議員

さがらとしこ

区政レポート

日本共産党議員団

2016.2.9. NO.1378.

ご相談はお気軽に

TEL FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

旧桐ヶ丘郷小あと、桐ヶ丘都営建替え工事
8階からアルミ製の脚立が落下
あらためて通学時、歩行者の安全求める



- 1月20日の午後1時おきのできごとでした。幸い、ケガ人はいませんでしたが、落下した場所は建物側面側の歩道でした。
- この日は朝から足場の撤去作業中。風もだんだん出てきていました。
- 「ガチャーン」と大きな音がけこと、子どもが親に。

現場を確認して、都・東都建設事務所に今後の対応など要請

- 通学路の安全確保について、住民のみなさんとともに、何度も対策を求めてきました。
- こうして中にもかかわらず、学校や近隣住民への報告もありませんでした。ことが公けになってから、現場に貼る紙が掲示され、学校への報告がされました。

▶ 第2回
TWS
2月14日
赤羽スポーツの森
ふれあい館で...



2015年におこなわれた第1回凧作り教室と凧あげ大会の様子

小学校統合から15年。児童数増加の中で、再び統合
新年度からの協議と前には、「3~4校」と「3校とする」に訂正

本計画は、当面存続規模を下回る小学校が存在するブロック(12ブロック中6ブロック)の適正配置を行うことを目標とする。1グループ当たりの協議期間は、学校の配置や統合時期等に関する協議に要する期間を2年間、その後の統合新校の開設準備に関する協議に要する期間を1年間として、3年後の統合新校開設を目安とする。

ブロック		24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	計画学校数
Cグループ	桐ヶ丘中 SF	桐ヶ丘郷小 袋小 八幡小 赤羽台西小	桐中ブロック 4つの小学校			児童数推計の上、 小学校数提示	協議期間			3
	十条富士見中 SF	王子第二小 王子第三小 王子第五小 荒川小 十条台小	学校配置及び 統合時期等協議				新校開設 準備協議		統合新校 開設	3~4

※ Aグループの対象である2ブロックの統合新校開設時期について、当初の計画では平成27年度としていたが、小学校適正配置検討協議会での協議の結果、上記のとおり合意に至った。

凧作り教室&凧揚げ大会

今年も和紙でつくります。指導は、北区伝統工芸保存会の志村康夫氏。

参加費 800円 絵の具などは持ってきて下さい。

<申込み> FAX 3909-6591 わなな

2月14日(日) 10時~赤羽スポーツの森

公園内のふれあい館

そのあと、公園で凧揚げをします。

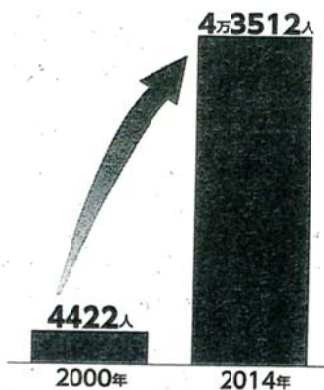
主催 ぐらし・環境・歴史遺産を守る
86号線住民の会

- 86住民の会は、2015年2月1日に発足。ことし1月31日(日)に、第2回総会をおこなわれました。「住民本位のまちづくり」の視点で、活動を広げていく。



戦争法廃止署名
2月3日(金)西口23番

テロ事件による全世界の死者数



出典:メリーランド大学のテロ及び非対称研究センターのデータベース
*Global Terrorism Database,より志位和夫事務所が作成

志位 次に進みます。
第二の問題は、過激武装組織「有志連合」が、アメリカをはじめとする「有志連合」が行っている軍事作戦に、自衛隊が参加する危険であります。

イート、トルコ、バングラデシュ、エジプト、レバノン、フランス、パキスタン、インドネシア、アフガニスタンと、世界各地におよんでおります。憎むべきテロを世界からどうやって根絶するかは、国際社会にとって大問題となっております。ISISのような残忍なテロ組織がどうして生まれたか。

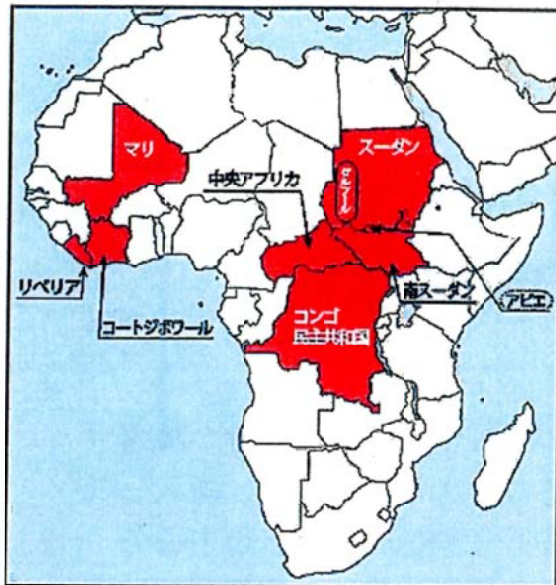
アフガニスタン報復戦争を契機に、テロによる犠牲者は10倍に激増した

志位 空爆での民間人の犠牲者を把握すらないではないか

首相 民間人の犠牲者は胸が痛むが、しっかりと武力行使を含めた対応が必要だ

志位 「対ISIS空爆の強化は、ISISを喜ばせるだけ」——この批判にどう答えるか

21世紀に入って創設され、現在活動中の国連PKOが展開しているアフリカの国・地域



CNNが2015年10月25日に放送したイギリスのブレア元首相インタビュー

CNN 多くの方は、ISISの台頭を見た時、イラク侵攻が主要な原因だと指摘した。それについてコメントはあるか？

ブレア元首相 その中には真実が含まれていると思う。もちろん2003年にサダムを排除したわれわれが、2015年の状況について一切の責任がないとはいえないだろう。

南スーダンPKO任務拡大 「殺し、殺される」危険 現実に衆院予算委 志位委員長の問題

◎2月4日、日本共産党志位委員長は、南スーダンPKOでの自衛隊任務拡大と、米軍主導による「有志連合」が、過激組織ISISに対する軍事作戦を行う際の自衛隊(おに、南スーダンに353人派遣されている)の参加問題を徹底追及しました。一部を紹介。

きっかけとなったのは2001年のアメリカ等によるアフガニスタン報復戦争でした。「対テロ戦争は、テロを根絶するところか、世界中にテロを拡散させる重大な契機となりました。」

「南スーダンに関する専門家委員会の暫定報告書」(2015年8月20日)から
「恐るべき人権侵害。本委員会は、政府軍がいわゆる『焦土作戦』をユニティ州全域で実行したことを知った。政府の同盟軍は、村々を破壊し続けた。人が中にいる家屋に火をつけ、家畜その他の金品を略奪し、学校や病院など主要なインフラを襲撃し破壊した。さらに、彼らは民間人を無差別に殺害し、殴打し、拷問にかけた。…子どもたちは特に被害を受けた。…多くの子どもが殺され、7歳の子もたちを含めレイプされ、拉致あるいは少年兵として州内での戦闘を強制された。…本委員会は、少女たちがしばしば両親や地域の人々の前でレイプされ、その後、生きたまま家ごと焼かれた、との証言を聞いた」

国連南スーダン派遣団 (UNMISS)

2011年7月9日にスーダンから分離・独立した南スーダンの治安維持を目的として創設されました。「住民保護」を重点的に行い、そのための「必要なあらゆる措置」-武力行使も認めています。

現在で軍事要員1万1892人、うち自衛隊は353人となっています。要員の死者は文民を含めて36人に達しています。

自衛隊 政府軍が国連PKOを攻撃 任務拡大すれば武力行使に

●志位氏は、改定PKO法で南スーダンの自衛隊部隊に「安全確保業務」「駆けつけ警護」の新任務が与えられれば、「自衛隊が戦後初めて『殺し、殺される』危険が現実のものになる」と強調。新任務での武器使用が憲法9条の禁じる「海外での武力行使」になぜあたらないのか、根拠を示すよう首相に迫りました。